

過去2回の陳情・請願は意見陳述できました(今回はよし)

審査結果

【陳情】

受理番号	3	受理年月日	平成26年 6月 3日
件名	「マイ停留所」でユーバスを「体と心の健康寿命を延ばせる生活インフラ」にする陳情		
【委員会の意見】 陳情者は、これまで由布市市民交通対策検討委員会の公募メンバーとして、由布市の公共交通施策にも精通しており、多くの提案を行政側に投げかけてきています。 執行部に確認したところ、今回の陳情内容も含め市民交通対策検討委員会でいろんな提案について協議を重ねた結果を総合的に判断して、現在のコミュニティーバス運行事業を実施しているとの説明でした。 委員から、地域全体の要望として必要度の高い事業であるのかどうか慎重に調査すべきとの意見が多く出され、慎重に審査した結果、継続審査すべきものと決定しました。			
審査結果	継続審査		



公共交通検討委員会は、年2回です。(3回開かれた年もあった)
老人会・女性団体の代表などが計10名。公募委員は陳情者を含めて3名。
出席者のほとんどがマイカーでの参加です。

1時間半ほどの会議時間の多くは、担当課の資料説明に費やされます。
担当課の提案に質疑があった後、承認されます。(過去、微修正はありました)

「事務局提案を承認するだけでなく、以下のようなことを話し合うのが公共交通委員会の役割ではないのか」と担当課に提案を続けていますが、議題になったことはありません。

- ① 地域活性化、子育て世代の定住、交通弱者対策などとユーバスとの関係
- ② 将来の由布市を見据えた公共交通の全体像
- ③ 現に今、生活の足に困っている人を公平に効果的に支援するには、
どういう運行方法や税金の使い方がいいのか、